



# 明化の教育

1月号(第474号)  
令和2年1月8日  
文京区立明化小学校  
校長 溝畑 直樹

本年も明化小学校をどうぞよろしくお願ひいたします

校長 溝畑 直樹



穏やかな中で令和2年が始まりました。皆さまにとって本年が幸多き年となることを心から祈ります。昭和5年に建てられた校舎は今年、節目の90年を迎えます。2月には校庭での仮設校舎建設が始まり、夏休み中に学校生活の拠点がいよいよ仮設校舎へと移る予定です。現校舎で過ごす最後の年である令和2年。風格に満ちたこの校舎で過ごす一日一日を大切にしていきたいと思ひます。

今日から3学期が始まりました。本年も教職員一同全力で子供たちの教育にあたってまいります。引き続きのご支援をどうぞよろしくお願ひいたします。

## — 玲子先生の思い出 —

小学校3年生の時、ソプラノ・リコーダーの学習が始まりました。私はどうしてもタンギングができず、ついにクラスの中でできない者は私一人となりました。音楽の玲子先生は「今日の放課後タンギングの練習をするので音楽室まで来るように。」とおっしゃいましたが、私は一人残って練習することが怖くて、音楽室に寄らず逃げ帰りました。翌朝一番に、玲子先生は私を音楽室に呼びました。「私はずっと待っていました。」と先生はただそれだけをおっしゃり、「では始めましょう。」とその場でタンギングの練習が始まりました。10分程で「トゥー」という音が出て、無事タンギングはできるようになりましたが、そのことよりも「逃げ帰った自分への後悔」と「玲子先生にはいい加減な態度はとれない。」という気持ちが強く私の心に残りました。

5年生のある日、音楽の時間に皆が自由にリコーダー練習をしていると、玲子先生が私の近くまでいらっしゃって、「とてもきれいな音がすると思ったら、溝畑君なのね。」とおっしゃいました。私は嬉しくて天にも昇る気持ちでした。それからは、玲子先生にお声を掛けていただきたくて、いろんな曲を熱心に練習し、できるようになると玲子先生に聴いていただきました。その度に玲子先生は「いい曲を選ぶわね。」と、またやる気になる一言を掛けてくださいます。タンギングのできなかった私は、このようにしてリコーダーの得意な子供になっていました。

6年生の運動会では100m走がありました。私が走りますと、係の仕事で放送室にいるはずの玲子先生がトラックのすぐ傍まで出てこられ、私に向かって拍手をし、大きな声で「がんばれ」と声援をくださいました。一番でゴールテープを切るところを玲子先生に見ていただきたくて、これまでにないほど夢中で走りました。ゴールして振り返ると、玲子先生が笑顔でこちらを見てくださっていました。私はその時確信しました。「私は玲子先生のお気に入りなのだ。」と。

卒業して二十年近く経った頃、友人との会話の中で小学生の頃のことを話題になりました。私は玲子先生のことを懐かしく話しました。驚いたことにその場にいた友人たちは一人残らず玲子先生のことを覚えていました。さらに私にとって少なからずショックだったことは、誰もが「自分は、玲子先生に気に入られていた。」と感じていたらしいことです。その時は「なんだ、私だけじゃなかったのか」と残念な気持ちがしたものです。

教員である今、玲子先生の本当の素晴らしさが身に沁みて分かります。玲子先生がかつて私たちに与えてくださったものは『尊敬』でした。尊敬とは人間をありのままに見てその人が唯一無二の存在であると受け入れることです。そして尊敬は勇気づけの原点でもあります。玲子先生の与えてくださる尊敬によって私たちは勇気づけられ、自分の力を伸ばしました。また、尊敬を私たちに与えてくださった玲子先生は当然のごとく多くの子供たちから尊敬されておりました。

年頭にあたり、明化は多くの子供たちに尊敬を伝えられる学校でありたいと強く願ひます。玲子先生が見てくださったら「いい学校ね。」とおっしゃってくださるように。

## ■■ 退職のお知らせ ■■

算数少人数指導を担当しておりました桑原千津子教諭は、12月31日をもって退職いたしました。三学期の算数少人数指導の体制については別途お知らせいたします。